

提供日 2022 / 5 / 10
タイトル 「学生が選ぶインターンシップアワード」 で入賞
担当 静岡県公立大学法人 静岡県立大学
経営情報学部 上原 克仁
発信担当者 054-264-5426



静岡県立大学記者提供資料

「学生が選ぶインターンシップアワード」で入賞 静岡県立大学

静岡県立大学経営情報学部の上原克仁准教授のゼミが、「第5回学生が選ぶインターンシップアワード」（経済産業省、(株)マイナビなどが後援）に応募、見事、入賞を果たしました (<https://internship-award.jp/>)。

報道機関の皆様におかれましては、取材(写真撮影可)をお願い致します。

上原ゼミでは、毎年、大学での学びの実践として、さらには県内企業を知ることなどを目的に、ゼミ活動の一環で、県内市町の地域課題や県内企業の経営課題の解決に取り組んでいます。今回の受賞は、昨年度、ゼミ生3人が菊川市商工観光課と連携して行った「ふるさと納税、納税額のV字回復」に向けた取組に対してのものです。大学の受賞は4大学で、ゼミ単位での入賞は上原ゼミだけです。

昨年度から始まった企業等との取組では、単に課題を見つけ改善策を提案するだけでなく、学生が提案内容を自ら実践し、結果を出すことまで学生主体で行っています。

具体的に、昨年8月以降、菊川市のふるさと納税に関する課題や問題点を洗い出しました。他市町に比べ返礼品の数が少なく、菊川市を代表するようなエース級の品がないことに気づいた学生は、リストに魅力ある返礼品の数を増やしたいと提案、新規返礼品の企画を行うこととなりました。学生が市内企業のWebページ等を検索し、新規返礼品にふさわしい商品を探し、見積もりを試算、企業へアポイントを取り、訪問もしくはオンラインで経営者や担当者に対し企画の提案と見積もりの説明を行い交渉、短期間で、丁子屋など6企業と19品目について採用が決まりました。

さらに、菊川市のSNSなどを閲覧し、情報発信が上手く市外の納税者に伝わっていない、写真の撮り方や加工の仕方が効果的ではないと感じた学生は、菊川市のふるさと納税公式Twitterの大幅な改善を学生目線で提案するとともに、菊川市のふるさと納税非公式Instagramの新規開設を提案、開設と運営が学生に任されました。

このような半年余りの活動の結果、学生が手掛けた新規返礼品だけで104.3万円の納税額がありました。昨年度は菊川市を含む4社とこのような取組みを行いました。今年度は7社と実施予定で、産学連携を通じ学生の職業観の涵養に取り組んでまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 経営情報学部 上原 克仁

電話 054-264-5426

メールアドレス Uehara (ここに@を入れる) u-shizuoka-ken. ac. jp